

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

- ◇例会日
- ◇例会場
- ◇事務所



第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp

CREATE
LASTING
IMPACT

持続可能なインパクトを生み出そう

第1737回例会 令和8年8月20日(木)

【会長の時間】

山田 利明

皆さん、こんにちは。会長の時間という事ですが、毎日慌ただしく過ごしており、体調もあまり良くないという事で、準備をしておりません。

暑気にあたってのせい、大きな仕事もいくつかあり、頭がパニックになっています。この暑さで夜に目が覚めて、どんなものかと考えてしまい、ストレスで寝不足になっています。自分ではストレスに強いと思っていましたが、ストレスに弱いという事を自覚しました。何とかストレスに打ち勝とうと思ひまして、どうすれば良いかと考えて、何しろやってみれば良いという方向に変更しました。疲れてはいるのですが、お盆中にも書類を作成していました。これを乗り切れれば、私も何とか会長職が全う出来るかなと思っています。今、大きな仕事が山にさしかかっているところで、ロータリーの事を考えられずに申し訳ないのですが、こんな状況です。

今朝、子どもに体調が悪いと言ったら、ウイルスのせいではないかと言われ、コロナのワクチンを打った人は体調が悪くなる人が多いと書かれた紙を持ってきました。甘い物を食べてはいけないとか、免疫を高めるのにサプリメントを飲むなど、免疫をあげた方がいいと。私は3回ワクチンを打っています。ワクチンを接種した人に体調の悪い人が多いらしいです。

2番目の子どもがその資料を持って来ましたが、家族が7人もいるのですが、誰もワクチンを接種してません。コロナに感染はしましたが、免疫が出来たと。お医者さんの助言でワクチン接種をしなかったらしいです。ただ、当時は感染したら死んでしまうという騒ぎでした。何が原因か分かりませんが、体調不良です。自分ではストレスだと思っていますので、休みを取りながら回復していきたいと思っています。

「みんなの家、ひまわりの家」の舞台が8月23日に開催しますが、名義の協賛をした関係で招待状がきています。数枚ありますので、見に行ける方はお声がけいたしたいと思います。よろしくお願いします。



【幹事報告】

小埜 和也

1. 地区事務所より
 - ①月信8月号
 - ②ポリオデーの案内並びに入会3年未満ワークショップラーニングの案内
 - ③メイクアップDay登録のお願い
2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま



船玉まつりにおきまして、皆野・長瀬ロータリークラブにも協賛をいただき、ありがとうございました。当日は増水してしまい、河原がほとんどなくなった状況でした。天気は回復したので、花火は出来るだろうということでしたが、協賛者の席を河原に作るの、どうしようかと考え、一部長生館の庭にあげたりしながら何とか開催する事が出来ました。皆様に感謝したいと思います。

【委員会報告】

1. 地区副幹事

高田 富康会員



昨日、鶴ヶ島ロータリークラブのガバナー公式訪問に原島ガバナーに同行しました。

会長はアルカーサル川越で鶴ヶ島駅の近くです。川越ロータリークラブの今泉さんが持っている迎賓館ですが、素晴らしかったです。今泉さんはミャンマーに深く関わった方です。

ガバナーの話では、今まで寄付の最高額は50数億円だったのが、誰かが120とか150億円を寄付した人が出たようです。

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
7	0	6	0	85.7%

クラブの歴史を語る

山田 利明会長

以前、例会を歌舞伎座で行った話をします。その時のクラブ計画書を持ってきました。2000年です。26年前になります。

2000～2001年度で第14代会長は新井英雄さん、幹事は私でした。新井さんは高校の国語の教員でしたので、案内状などは幹事の私が作りましたが、かなりチェックをされました。そのお陰でかなり上達しました。

ガバナーが高橋福八さんで、当時の分区代理は寄居の荻野さんでした。高橋さんは、面白い人で面白くするためになるロータリーをキャッチフレーズにしました。今まで硬くて、窮屈だったと。年度計画書のガバナー方針を読んでみます。

数年前から年間のテーマ、ロータリー会長のスローガンは一本とし、地区やクラブは原則としてそれ以外は掲げない事が望ましいとなっていました。ただし、RI会長のテーマには、不偏のテーマなら大いに結構となっていました。しかし私はガバナー就任が決定した時点で、第2570地区のスローガンを決めていた。面白くするためになるロータリーである。不景気で会員が減少気味のなか、地区がクラブ面白くなければ、益々仲間が減るのは当然である。面白くなければ、人が集まるわけがない。しかしただ単に面白いだけでは、ロータリーの意義もなく、品位に関わる。社会に対して、職業に対し、世界に対し、奉仕させていただける喜びを知り、その行為によって、人間性が高まらなくては、外部から見ても魅力ある団体とは言えないだろう。アナハイムで最初の演説でダブリンから次年度テーマを初めて耳にした時に、私は耳を疑い、そして驚いた。私が昨年作った、下の句のスローガンにデブリンRI会長エレクトは誠にぴったりの上の句を付けてくれたのではないか。意義を喚起し、進んで行動すれば、必ず面白くするためになるロータリーになると、本年度同様次年度も更に楽しいロータリーになる。間違いなく運の良い一年になる事を確信した。

この人がガバナーの時にはいろいろな事がありました。一番は歌舞伎座での例会です。地区大会という、その地区でやらなくては行けなかったようです。地区大会という名前を付けられずに移動合同例会となっています。12月14日に開催されました。

高橋福八さんが歌舞伎座を選んだのかは、高橋さんの趣味がゴルフ、清元、俳句、茶道、読書とあります。清元なんですね。歌舞伎座と関係のあるのが、歌舞伎のバックで謡っているのが清元です。当時、歌舞伎座に行って、練習していたそうです。後ろで謡いに混じって、やらせてもらっていたそうです。かなり長くやっていたそうです。それで歌舞伎座と関係が出来ていたそうです。当時突拍子もない事をやらなけ

ればダメだとよく言っていましたので、面白い人だなと思っていました。

第2570地区移動合同例会会場となった歌舞伎座はほぼ満席くらいになりました。席を決めるのにクラブごとの抽選となりました。皆野・長瀬は前から10列目くらいの良い席でした。

プログラムは公演を少しやって、途中で例会になりました。舞台に会長、幹事が登壇して例会をしました。客席はこう見えるんだなと思い、良い経験をさせてもらいました。

一番印象に残っている演目は「身替座禅」です。簡単なあらすじは、大名の山蔭右京には、嫉妬深い正妻・玉の井と、逢瀬を重ねたい遊女花子がいいます。右京は「一晚お堂で座禅修行をする」と妻に嘘をつき、家来の太郎冠者を身代わりに座らせて自分は花子のもとへ出かけます。企みを見破った玉の井は、太郎冠者と入れ替わって布団をかぶり、帰ってきた右京から花子とのろけ話を聞き出し、最後に夫をやり込めます。家来を座禅の身代わりにする事から起こる騒動を描く滑稽な歌舞伎舞踊です。笑いのある夫婦の駆け引きが見所です。

楽しい思い出になります。今日は以上です。

